

現行計画に位置付けた人材確保の取組を行っていますが、第9期計画の基本目標4の④の実現に向け、委員の皆様にご意見をちょうだいしたいと考えております。

■ 第9期計画体系（第2回市民協議会で協議させていただいた資料より抜粋）

基本目標4：介護保険をはじめとしたサービス基盤の整備

1. 介護保険サービス	① 介護サービスの充実 ② 介護保険制度の円滑な運営と適正な事業運営の確保 ③ サービスの質の向上と利用者支援 ④ 介護人材の確保・育成と介護現場の生産性の向上 ⑤ 介護現場の安全性の確保、リスクマネジメントの推進 ⑥ 防災・感染症対策の推進
2. 高齢者福祉サービス	① 高齢者福祉サービスの整備

事業所調査結果概要（1）近江八幡市内に所在する事業所の職員の過不足状況

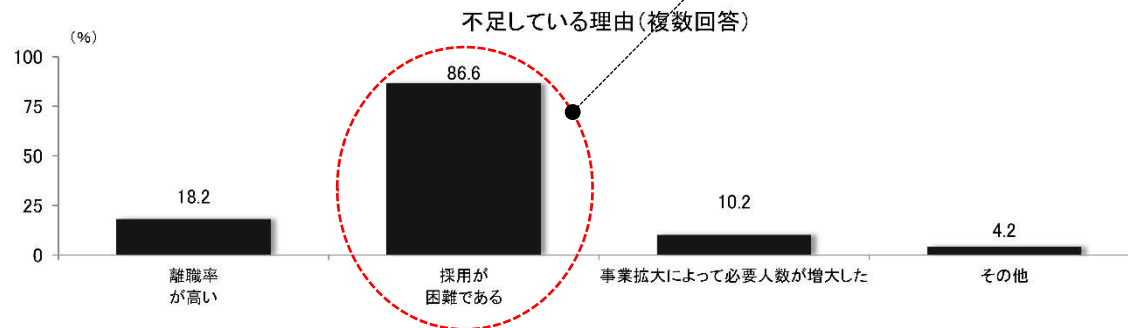
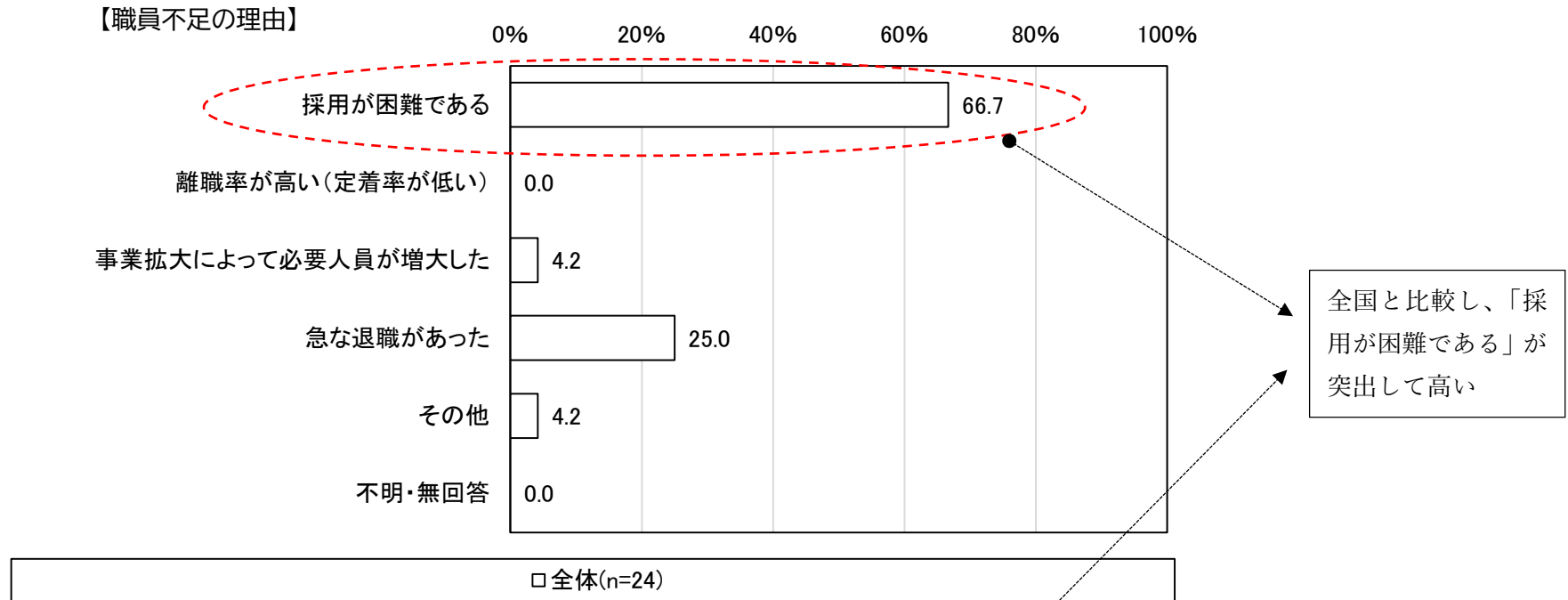
■ 近江八幡市内に所在する事業所の職員の過不足状況についてみると、全体の7割の法人が、職員不足があると回答しています。

【近江八幡市内に所在する事業所の職員の過不足状況】

回答法人数	職員不足があると回答した法人数	職員不足があると回答した法人の割合
36 法人	24 法人	66.7%

(2) 職員不足の理由

■ 職員不足の理由についてみると、「採用が困難である」が66.7%と最も多くなっています。



出典: 令和2年度介護労働実態調査
((財)介護労働安定センター)

本市では、複雑化、多様化する介護ニーズに対応できる人材の育成及びサービスの担い手である人材の確保、定着促進の取組の推進を行っております。

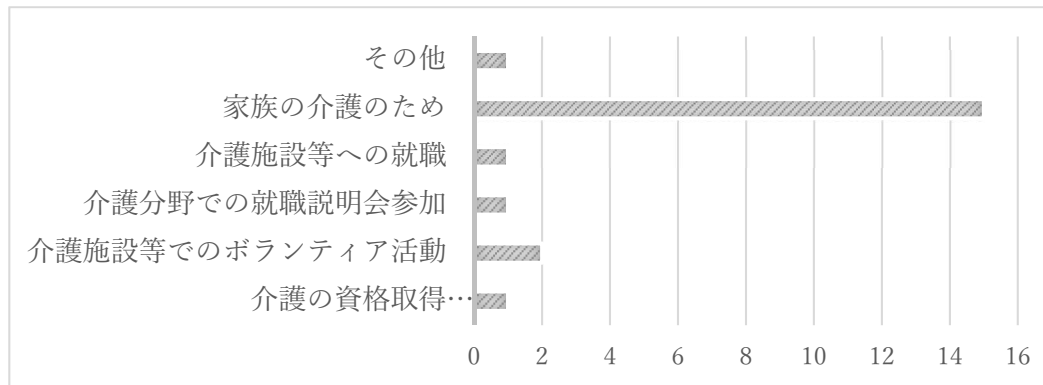
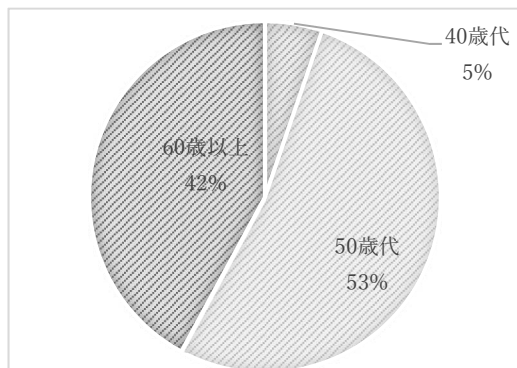
事業名	日時	参加者
介護に関する入門的研修	令和4年8月27日	21名
介護に関する入門的研修	令和4年10月22日	29名
介護に関する入門的研修	令和5年9月23日	24名（内就労希望者は9名）

***効果**

介護に関する入門的研修では、これまで介護との関わりがなかった方等、介護未経験者が介護の業務に携わる上で必要な基礎知識や技術を習得することを目標として実施をしました。介護現場への就労の一助とすることや、在宅介護に対する不安の解消に役立てることができました。

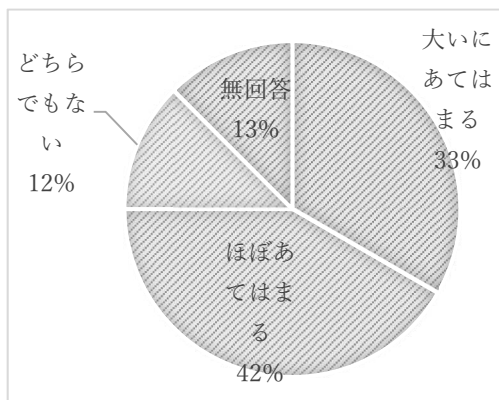
***参加者の属性**

参加者の60歳未満が半数近くを占めています。参加のきっかけとしては、家族介護のためが最も多い結果となりました。

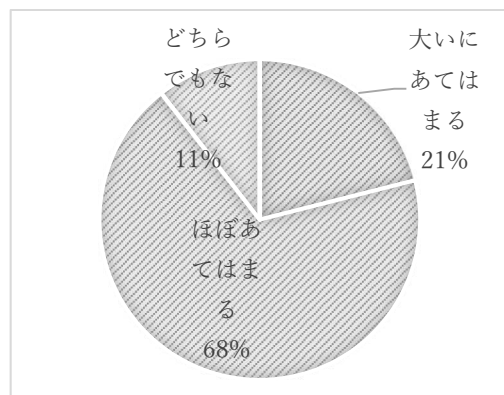


受講後は、7割以上が介護へのイメージが肯定的になったと回答されました。また、研修を受講して、8割以上の方が介護分野に興味・関心を持たれました。

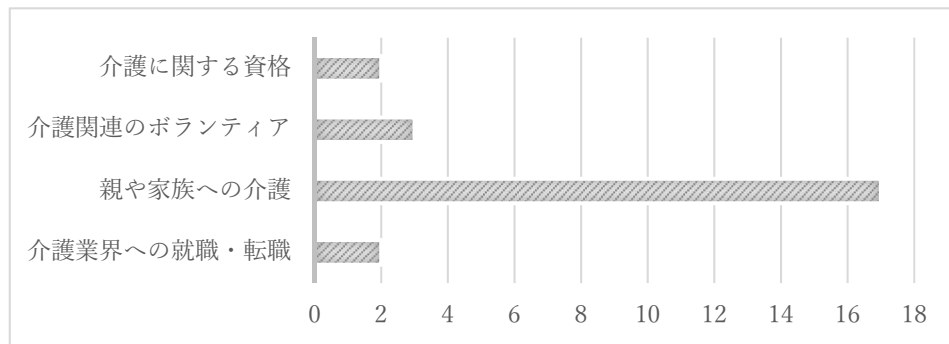
◆ 受講後のイメージ〔肯定的に変化〕



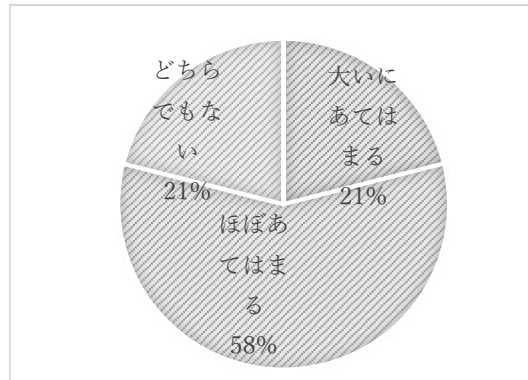
◆ 介護分野への興味・関心



研修の内容は、どのようなことに役立つかの問いかけに対して、親や家族への介護が最も多い結果となりましたが、介護に関する資格や、ボランティア、介護業界への就職・転職を考えられた方も一部おられました。



研修を通して、「介護の仕事」について自分でもできることがあるのではないかと感じられた方が8割にのぼりました。

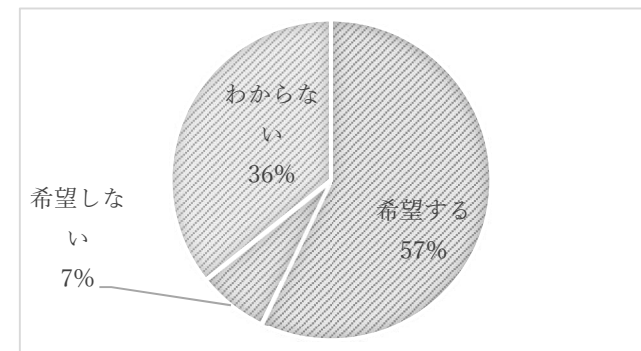


実施をした事業がおよそ1年後に受講者の行動変容につながったのかを調査しました。

事業名	日時	回収率
介護に関する入門的研修実施後のフォローアップ調査	令和4年11月28日から 令和4年12月28日まで	58.3%

***効果**

フォローアップ調査結果として、受講後の行動変容については、介護分野での就職説明会への参加、介護の資格取得や、家族介護をする中で、必要な基礎知識や技術を習得することにつなげることができ、6割近くの方が次回の研修参加を希望されました。



*参加者の声（受講後、1年後の意見）

- 介護のとき、どうしても言葉がやさしくできないときがあります。傷つけているのではないかと反省するようになった。
- ゆっくり話すようにしています。時間のある限り、相手の話を聞くようにしています。暗い話になった時は、明るい話になるように、もっていっています。
- 妻が認知症のため、自分自身が頑張りすぎて介護に疲れかけたとき、研修を受けてよかった。今はマイペースで妻に合わせています。気が楽になりました。
- 車に乗せるときやベッドの移動時に身体の下にビニールシートを敷いて体を変えたり、動かす時に教えて頂いたことを取り入れています。
- 転倒時の起こし方を教えてもらい、実践することで介護者も被介護者もとても楽になりました。
- まだ先の話なのですが、何も知識がない私にとって、何もかもが、勉強になった研修会でした。誠にありがとうございました。地域のお世話になっている方々のもしもの時にも力になれるようにしていきたいと思っています。
- 介護される側の気持ち、接し方が理解できた。要介護になる前、要支援段階でもどのように接するかも勉強になった。転倒して動けなくなった時は、支えたりする事もコツをいただき、ありがたかった。どこに相談したらいいかという事もわかり、そうなった時相談できてよかったです。

*次回の研修で希望されるテーマ

- 被保護者にならない為の方策。ケアマネ等のシステムを詳しく知りたいです。
- 介護される人との話し方について。食事メニューについて。
- 保険や制度について
- 介護者が腰を痛めない介助の仕方（立つ・歩く・座る・寝る・起きる）
- 褥瘡について（ポジショニング等）
- コロナ禍により介護のやり方も変化していると思うので、情報更新のためのフォローアップ研修があればぜひ参加したいです。

上記結果を受けて、令和5年度に入門的研修の応用編を開催するための調整をしているところです。

次に、高齢者の在宅生活の充実を図るため、市内の介護サービス事業所等で働く介護職および看護師の確保を目的に、滋賀県介護・福祉人材確保緊急支援事業費補助金を活用し、本市独自の職場面接会を開催し、確実に市内施設への就職に結びつけ、人材を確保するために下記事業を実施しています。

事業名	日時	参加者
合同職場説明会&面接会	令和3年11月6日(土)	28名(採用2名)
合同職場説明会&面接会	令和4年11月19日(土)	28名(採用4名)
合同職場説明会&面接会	令和5年10月7日(土)	—

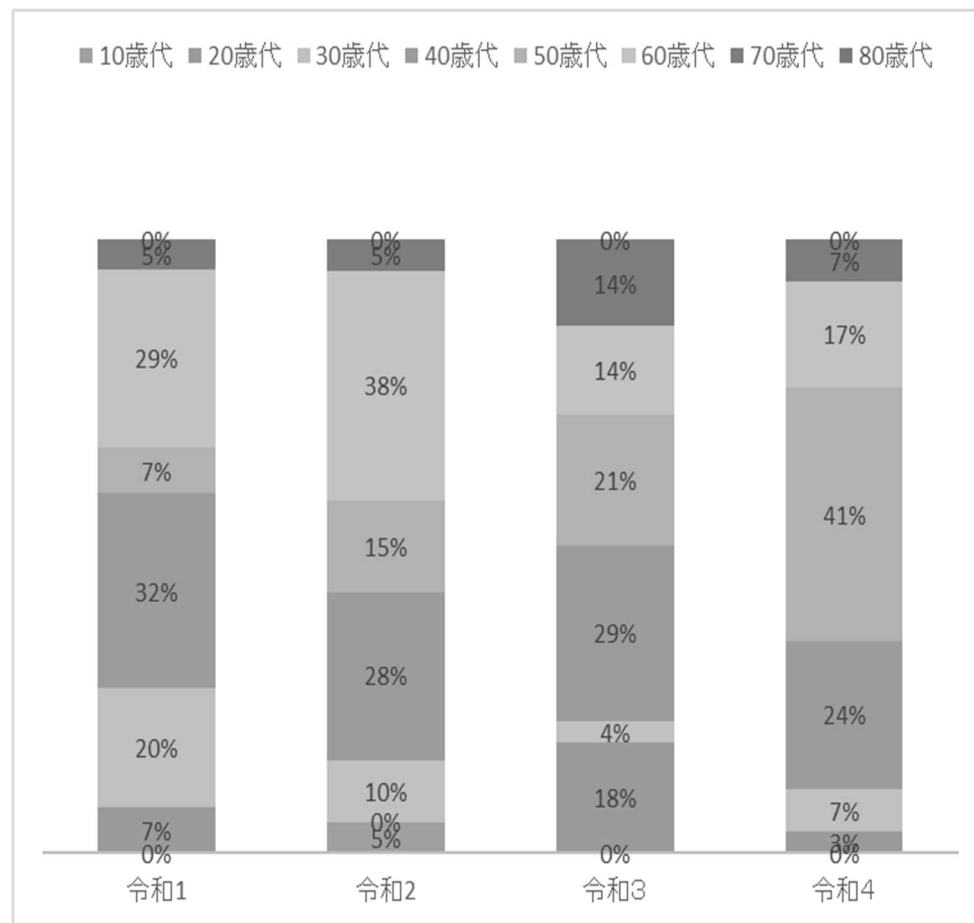
***効果**

令和3年度は、9法人18事業所と協働開催し、28名の参加、内2名の採用の結果でした。令和4年度は新たに4居宅介護支援事業所を含めた開催をし、13法人30事業所と協働開催し、参加事業所、採用者数ともに増加するに至りました。今年度は、令和5年10月7日(土)に実施予定となりますが、先日23日(土)に開催しました入門的研修の受講生にも参加につながるよう働きかけを行いましたので、ご参加いただければと考えているところです。

*参加者の属性

人数	令和1	令和2	令和3	令和4
10歳代	0	2	0	0
20歳代	3	0	5	1
30歳代	8	4	1	2
40歳代	13	11	8	7
50歳代	3	6	6	12
60歳代	12	15	4	5
70歳代	2	2	4	2
80歳代	0	0	0	0

70歳以上でも雇用が可能であることを伝えるため、令和元年度より、配布チラシに記載。50歳代の参加割合が最も高く、増加傾向となっています。

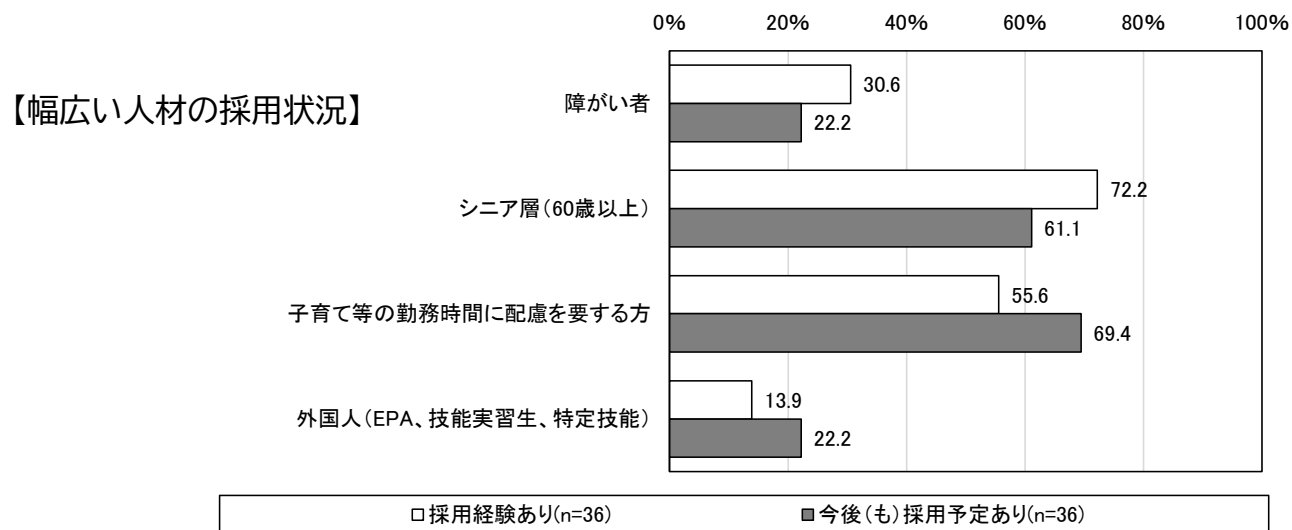


市内介護事業所の外国人介護人材の受入れを促進し、介護人材の確保を図ることを目的に令和2年度より下記補助制度を創設し、実施をしています。

事業名	年度	対象者数
外国人介護人材受入支援事業補助金	令和2年度	2名
外国人介護人材受入支援事業補助金	令和3年度	なし
外国人介護人材受入支援事業補助金	令和4年度	2名
外国人介護人材受入支援事業補助金	令和5年度	3名、別途4名他法人より問合せあり

事業所調査結果からみる幅広い人材の採用状況

- 幅広い人材の採用状況についてみると、採用したことがある人材は「シニア層（60歳以上）」が72.2%と最も多く、次いで「子育て等の勤務時間に配慮を要する方」（55.6%）、「障がい者」（30.6%）が続いています。
- 今後（も）採用予定がある人材は「子育て等の勤務時間に配慮を要する方」が69.4%と最も多く、次いで「シニア層（60歳以上）」（61.1%）、「障がい者」「外国人（EPA、技能実習生、特定技能）」（22.2%）となっています。



総務省の労働力調査によると、仕事をしている高齢者は19年連続で増加し、22年は912万人と過去最多を更新しました。就業者全体での割合は13.6%で、仕事をしている人のおよそ7人に1人は高齢者である現状

■高齢者の就業（労働力調査、就業構造基本調査、OECD.Stat）より抜粋

- ◆高齢就業者数は、19年連続で増加し912万人と過去最多
- ◆65～69歳、70～74歳の就業率は過去最高
- ◆日本の高齢者の就業率は、主要国の中でも高い水準
- ◆高齢雇用者に占める非正規の職員・従業員の割合は76.4%
- ◆「医療、福祉」の高齢就業者は10年前の約2.7倍に増加
- ◆高齢の就業希望者のうち、希望する仕事の種類は、男性は「専門的・技術的職業」が最も多く、女性は「サービス職業」が最も多い
- ◆高齢者の有業率は、男性は山梨県が最も高く、女性は福井県が最も高い

や、上記事業所調査も参考に、

- 外国人介護人材受入支援事業補助事業の継続実施
- 元気高齢者や子育て世代の取り込み（潜在的な労働力の取り込み）
- 障がい者等福祉就労
- 介護ロボット等ICT活用支援

といったことが考えられますが、それ以外にもご意見やご提案がございましたら、10月6日（金）までにご提出くださいますようお願いいたします。

「基本目標4：介護保険をはじめとしたサービス基盤の整備」④ 介護人材の確保・育成 についての意見・提案

委員名：〔 〕

取り組んでほしい内容	効果やメリット
(例) 外国人介護人材受入支援事業補助事業の継続実施	(例) 市内介護保険事業所の人材確保が図られ、必要な高齢者に必要なサービスを安定的に提供するために寄与できているから。